

講義名	スクールソーシャルワーク論			授業形態	
担当教員	岩崎 久志	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

#### 主題と概要

今日、教育現場においても子どもたちの生活全般に関わる深刻な問題が増加してきている。この授業では、学校教育に関わる社会福祉の専門分野であるスクールソーシャルワークについて理解し、福祉的な視点から問題解決を図っていくための支援のあり方について学習する。事例等を通じて子どもたちが抱える問題を概観した上で、それらの問題をスクールソーシャルワークがどのような視点で捉え、どのような実践モデルや援助技術を用いて介入するのかについて理解を深めていく。

#### 到達目標

スクールソーシャルワークとは何かを知り、学校現場でソーシャルワークによる支援活動を行う意義を理解できる。  
 スクールソーシャルワークの実践モデルに基づくミクロ、メソ、マクロレベルのスクールソーシャルワーカーの機能と役割を理解できる。

#### 提出課題

授業の中で指示する。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の提出や小テストを実施した直後の授業において、講評や特徴的な記述内容等の紹介を行う。それに引き続いて、解説や質疑応答を実施する。

#### 評価の基準

定期試験（50％）、授業中に課す小レポート（30％）、授業への積極的参加度（20％）を総合的に評価する。

#### 履修にあたっての注意・助言他

将来、教職に就くことを念頭に置いて、積極的に授業に参加することを期待している。

#### 教科書

.使用しない。

#### 参考図書

.なし。

#### その他

資料は適宜配布する。

#### 授業計画

- 第1回：スクールソーシャルワークとは；価値、目的、役割  
 予習内容：シラバスを熟読し、スクールソーシャルワークに対する自身のイメージを言葉にまとめようとして講義に出席すること(90分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(150分)  
 第2回：スクールソーシャルワークの発達史  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第3回：日本におけるスクールソーシャルワークの現状  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第4回：学校教育とスクールソーシャルワークの関係  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第5回：不登校とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第6回：いじめ問題とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第7回：暴力行為、非行とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第8回：特別支援とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第9回：学力保護とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第10回：児童虐待とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第11回：虐待とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第12回：精神障害とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第13回：外国籍の子とたきとスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第14回：教育改革とスクールソーシャルワーク実践  
 予習内容：前回授業にて配布した講義資料を見ながら、自分が興味を持った内容をまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：講義ノートを読み、配布した資料を参照しながら理解を深めること(120分)  
 第15回：振り返り、まとめ  
 予習内容：本授業にて配布した講義資料や講義ノートにあらためて目を通し、自分が最も興味を持った内容、そして疑問に思ったことなどをまとめようとして講義に出席すること(120分)  
 復習内容：授業の全体を振り返り、教育現場や子どもの生活を含む福祉的課題を整理し、望ましい支援のあり方について、あらためて熟考すること(120分)

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

教職課程に関連する科目として位置づけられるものである。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業では、説明のあと質問をしたり適宜コメントを求める。

#### 実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」  
 スクールソーシャルワーカーのスーパーバイザーとしての教育現場における支援経験に基づき、具体的な理論の実践における活用方法や事例の紹介を行う。

#### 備考

教職課程を履修する学生の受講が望ましい科目である。